

2021 年度 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

事業報告書

特定非営利活動法人 NPO サポートセンター

1. はじめに

2019 年の世代交代から3年が経ちました。この期間はコロナ禍に突入し、世の中も大きく変わった時期とも重なります。機能不全に陥るNPOがあるなかで、堅調に業績を伸ばし、環境変化によって生まれた新しいニーズへの対応や長期的な意図を持った取り組みにチャレンジすることができたのは、理事たちの真摯な助言に基づき、スタッフが丁寧に現場に向き合っ案件を生み出し、改善する努力を継続しているからだといえます。2021 年度の運営については、以下の 3 項目がポイントでした。

■事業間シナジーの意識

Vision2020 で示した「NPOのモデルチェンジ支援」「NPO支援のマーケットづくり」「協創のプラットフォームづくり支援」という事業の方向性における3本柱は、とらえなおしたミッションを常に意識し、多様に展開する事業を統合する役割を果たしています。特に「モデルチェンジ」というキーワードは、戦略策定やバックオフィス支援、研修だけでなく、展示会企画や自治体支援でも意識されることで、社会課題の根本的解決を目指した組織変革という私たちの事業展開の軸になっています。2022 年度はさらに事業間連携や同じ顧客の複数利用に結びつくことを目指します。

■組織運営体制の整備

2021 年度は、組織としてのバリュー(行動指針)5項目を理事・スタッフで策定し、事業の方向性に続き、組織運営の基準となるものをつくることができました。今後はこれをもとに、具体的な組織運営の仕組みづくりに着手します。また、志を共にする新しい仲間を採用することができましたが、高まる需要に対応できるほどの人数を確保できていません。採用戦略や人材育成についても今後は新たな発想で取り組む必要があります。

■アドボカシー型の事業展開

顧客の課題解決を中心とした事業展開だけでなく、アドボカシー型の取り組みにも力を入れ始めました。特にNPOに「戦略経営」を導入するモデルチェンジプログラム、将来のソーシャルセクターを支える若者や中間支援の支援の担い手を育成する「NPO キャンパス」に手応えを感じています。2022年度は「NPOの事業承継」というテーマを軸にして、今まで積極的とはいえなかったソーシャルセクターの様々なステークホルダーとのコミュニケーションを強化していきます。

2023年に、私たちは設立30周年を迎えます。この節目に向かって、あらためて中間支援組織として何をすべきなのか、NPOにしかできないことは何なのかを考えて常にモデルチェンジしつづけることを目指していきます。

代表理事 松本祐一



1.1 Vision2020

2020年に取りまとめた、Vision2020「私たちは社会の「モデルチェンジ」を支援します。」を掲げて、NPOを「事業」という側面から支援し、多様な参加を通じて社会課題を根本的に解決するプラットフォームの構築を目指し、事業に取り組んだ。

3つの柱、「NPOのモデルチェンジ支援」、「NPO支援マーケットづくり」、「協創プラットフォームづくり支援」を軸に取り組んだ。



Vision 2020 | NPO サポートセンター : <https://vision2020.npo-sc.org/>

1.2 バリュー(行動指針)の策定

Vision2020 達成のため、組織としてのバリュー(行動指針)を理事・スタッフにて検討し、以下の5項目にまとめた。今後は、バリューの浸透について継続的に取り組む。

- 課題を構造で捉え、仕組みで解決します
- 現場の声を受け止め、ひとつ先の未来を見据えて共に行動します
- チームとして安心して挑戦できる環境を作ります
- 常に目的を意識し、主体的に行動します
- NPO サポートセンターが生み出せる最大のインパクトを考え続けます

1.3 新型コロナウイルス対応支援

■新型コロナウイルス対応支援

新型コロナウイルス感染防止対策の影響が NPO の事業や経営へ大きな打撃を与えている実情を踏まえ、国等が行う対応支援策の活用をサポートした。

(1) 公的支援策の情報発信、申請サポート

国および東京都が実施する給付金、助成金など NPO も利用できる資金支援策を発信し、個別相談を受け付け、必要に応じて具体的な申請手続のハンズオンサポートも行った。

(2) 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 企画運営サポート

日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が実施している休眠預金活用「新型コロナウイルス対策緊急支援助成」のうち1プログラムについて、資金分配団体によるプログラム企画運営のサポートを開始した。

プログラム名: 新型コロナウイルス対応緊急支援助成～社会的脆弱性の高い子どもの支援強化事業～
実施主体(資金分配団体): 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

助成期間: 2020年9月～2022年1月

助成先団体数: 17団体

業務内容: プログラム企画運営への助言、助成先団体の事業進捗確認および伴走支援

(3) 47 コロナ基金

全国コミュニティ財団協会と連携し、地域ごとに新型コロナウイルスの影響に NPO 等が対応のための寄付金を募る仕組みとして、47 コロナ基金(基金設置管理: 公益財団法人地域創造基金さなぶり)設立に参画。

NPO サポートセンターは、東京都内におけるプログラム企画に関わった。(全体の寄付額: 23,535,163 円
2021年9月末時点)

2. NPOのモデルチェンジ支援

2.1 Good Business Studio

社会課題の解決をめざす事業に取り組む、人と組織を対象とした研修プログラム「Good Business Studio」を開催した。NPOや企業、行政が取り組む社会的な事業の”困りごと”を解決し、事業を前進させることをコンセプトとしており、個人・団体向けの受講プランや、様々な業務分野を網羅した通年開催のプログラムを特徴としている。今年は現地・オンラインのハイブリッド形式で受講できる少人数制のゼミを中心に、年間で22のプログラムを実施した。

新しい試みとして、8月には「オンデマンド見放題 Premiumプラン」の提供を開始。1ヶ月から始められる定額制のプランで、各研修の生放送終了日から6ヶ月間、人数制限なくオンデマンドで繰り返し研修の動画を視聴できる。リモートワーク時代の新しい選択肢として、団体のスタッフや理事、ボランティアの方と一緒に学んでいただける環境を拡充することができた。



■実施概要（講座/ゼミ）

< Good Business Studio2021 >

開催期間:2021年4月~2022年3月

講座数 :22(うち講座4、ゼミ18) 参加者数(のべ):559人

※受講者のうち、オンラインの受講者数:538人

会場 :主にオンライン及びNPOサポートセンター田町オフィスにて開催



■講座/ゼミ内容（複数回開催のテーマあり）

< Good Business Studio2021 > ★は団体プラン、●は聴講生プランに対応

講座 (4)	●社会的インパクト時代のマネジメント。自分とチームと社会が成長する事業づくりと組織づくり入門(2回)
	●オンライン時代のチーム運営「NPOのためのプロジェクト・マネジメント基礎」
	●NPO 関連の法改正を総ざらい！—NPO 運営の困り事ありませんか【『NPOの法律相談 [改訂新版]』刊行記念】

ゼミ (18)	★●チームのみんなで考える事業戦略「基礎から学ぶ中期事業計画作成ゼミ」
	OJT だけでは身に付かない！NPO 基礎力が育つ「新任スタッフ研修」(2 回)
	●自分とチームと社会がつながる、ソーシャルセクターの仕事観をみがく「若手・中堅スタッフ研修」
	★●組織のミッション達成につなげる「メールマーケティング・メルマガ戦略ゼミ」
	★●NPO 活動の再現性を伝えるリサーチ力「アンケート / ヒアリング実践プログラム」
	●オンライン会議が劇的に変わる「会議を支えるデザインとファシリテーションの技術」
	●NPO の未来を変える技術「オンライン・プレゼンテーション」入門ゼミ—『100%共感プレゼン』刊行記念
	●次の時代を見据えた NPO の事例と実践「事業戦略づくり基礎ゼミ」
	●基礎知識と効率化のノウハウを学び、改善につながる「NPO 会計業務入門」
	★●新時代をサバイブする寄付戦略「デジタルファンドレイジング基礎ゼミ」
	●オンライン会議が劇的に変わる「会議を支えるデザインとファシリテーションの技術」
	★●想いのあるリーダーと志ある資金提供者をつなげる「グラント・ライティング入門研修」
	●裁量権の大きな新任スタッフのための「チームマネジメント & リーダーシップ」入門ゼミ
	★●NPO 組織論の新常識！ケーススタディで学ぶ「ハラスメント防止・対応」実践ゼミ
	●チームに変化を起こすアプローチ「小さな組織の問題解決」入門ゼミ
★●現場から政治、行政を動かす施策を考える「政策提言アプローチの事業戦略ゼミ」	
★●情報発信の社会的視点を高める「NPO の広報・コミュニケーション戦略」ゼミ	

■成果・チャレンジ

- ・新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、現地・オンラインの参加形態が選べる少人数制のゼミを毎月開催するとともに、新規ゼミ開発も積極的に行った。
 - － ゼミの開催数：5 ゼミ(2020 年度) → 18 ゼミ(2021 年度)
 - － 新規ゼミの開発数：2 ゼミ(2020 年度) → 8 ゼミ(2021 年度)
- ・受講アンケートの結果から、現地・オンラインともに研修内容の評価をいただいている。

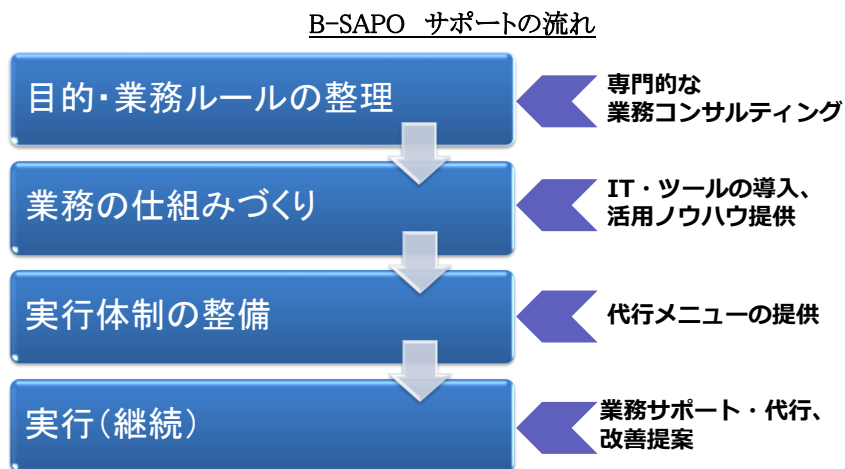
- 研修内容の満足度が5段階評価中 5 及び 4 の合計の割合：100%(現地)、89%(オンライン)
- ・受講アンケートの結果から、受講団体が取り組む事業の「困りごと解決」を目的としたゼミを推進していること
の成果として、団体(組織)単位での受講が進んでいる。
- 受講料を団体負担として参加する団体の割合：51% (2020 年度)→ 61%(2021 年度)
- 参加理由を「内容が自団体/自社の課題にあっていたから」もしくは「自団体/自社の上司にすすめられたから」とする団体の割合：34%(2020 年度)→ 44%(2021 年度)

2.2 事務局運営サポート事業 (B-SAPO)

NPOなどの社会課題に取り組む組織に対し、事務局運営を効率化、安定化させ、持続可能な組織となるためのバックオフィスサポートサービス(B-SAPO)を提供した。

バックオフィス業務について組織の現状、体制、課題等のヒアリングや診断を実施した上で、非営利組織向けのデータ管理ソフトやクラウド会計など、バックオフィスを効率化するツールも活用しながら、最適なサポートを行った。

今年度は、引き続き多くの支援の要望をいただき、既存の約40団体に加えて新たに16団体に対してサービス提供を行った。新規スタッフの採用を行い、より安定的で質の高いサービス提供ができるよう努めた。



(1) 個別支援

バックオフィス業務の内、「会計事務」、「会員・寄付者管理」、「情報システム」などで支援を実施した。

●会計事務サポート・代行

会計ソフトの選定・導入から日常の会計業務の手順化、記帳などの作業代手をサポート。支払作業や会計書類の整理、経費精算などの会計付随事務や決算代行も行う。

会計事務サポート・代行 サービス事例

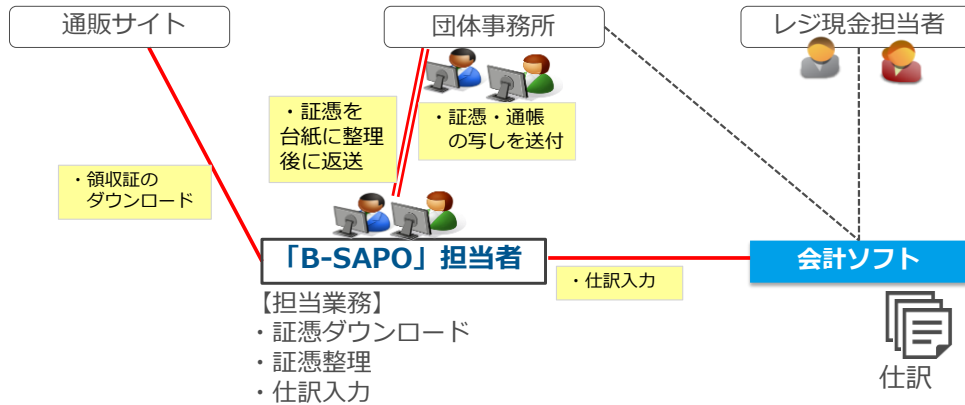
活動分野 : 子ども、教育

メンバー数 : 19名

検討の背景&課題

- ・複数の保育園を運営する非営利法人
- ・現金関係はレジ担当者、銀行口座のお金の動きはB-SAPOが担当
- ・遠方に所在

B-SAPO活用内容



●会員・寄付者管理サポート・代行

支援者を管理するデータベースへの支援者データの登録、決済データの連携、寄付実績の入力などをサポート。会費納入依頼などの請求書や会費・寄付の領収書発行・送付も実施。

会員・寄付者管理サポート・代行 サービス事例

活動分野 : 復興支援、子ども支援

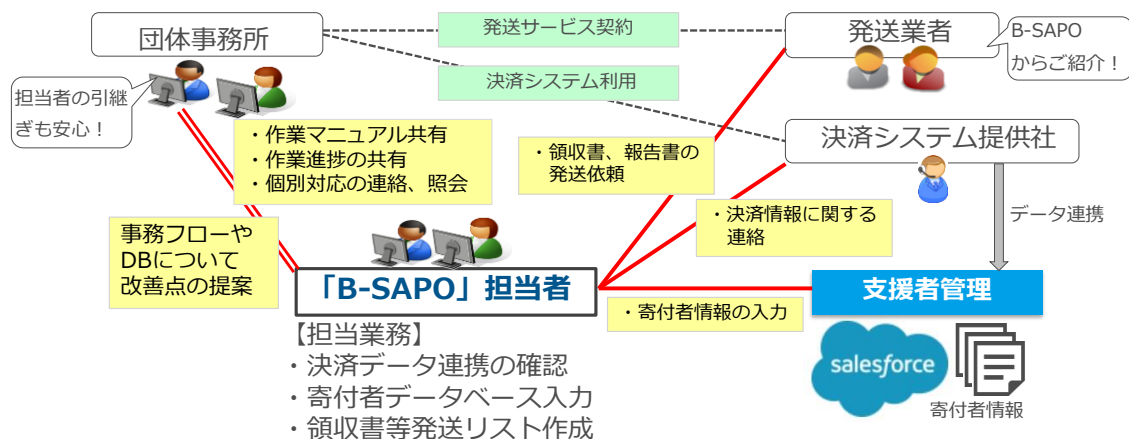
メンバー数 : 8名 (代表理事含む)

マンスリーサポーター : 1,000人以上

検討の背景&課題

- ・特に寄付の増える時期に、問合せ対応、寄付金額変更の対応、寄付への御礼、領収書発行、支援者データベース入力などの作業が大幅に増える。(最大で通常時の約8倍)
- ・寄付対応担当者はいるが、繁忙期に人手が不足。より寄付者満足度を高めるコミュニケーションや戦略づくりに時間を割けるよう、事務を見直したい。

B-SAPO活用内容



●情報システムサポート・代行

IT 全般の相談対応、IT ツール・機器の選定など専門性を持ったスタッフが相談役を担当。

(2) NPO 法人会計力検定

NPO 法人会計担当者の実務に関する知識やスキルを客観的に評価し、個々の会計担当者の力量を向上させることを目的とした検定。一般社団法人 NPO 会計力検定協会が主催する「NPO 法人会計力検定」に共催し、東京開催を年に 2 回実施した。

(3) 休眠預金関連

休眠預金活用事業の資金分配団体が増加する中で、新たに資金分配団体になる法人に対して、助成団体への伴走支援サポートや会計報告資料の確認・フィードバックのサポートを実施した。本サポートの経験を踏まえて、一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)への共有、対応検討、セミナー登壇を行った。

(4) 情報発信・啓発活動

B-SAPO サービスを広報するためのパンフレット・web サイトやメール配信を通じて、サービス紹介や情報発信を行った。Good Business Studio のセミナーの一つとして、NPO 法人会計の基礎や業務改善のポイントについてのセミナーを実施した。また、展示会出展やセミナー登壇により、サービス紹介等を実施した。

●展示会出展(オンライン)

・2022 年 2 月 1 日～3 月 20 日 : Fundraising Japan2022 (日本ファンドレイジング協会主催)

●セミナー登壇(オンライン)

- ・2021 年 9 月 14 日、10 月 5 日 : 基礎知識と効率化のノウハウを学び、改善につながる「NPO 会計業務入門」
- ・2021 年 10 月 20 日～ : バックオフィスをととのえて、計画的なファンドレイジングを実現 ! (NPO サポートセンター主催、BUSINESS to NPO World オンラインショーケース内)
- ・2022 年 2 月 1 日～ : 事務局業務の自動化の第一歩 ! NPO にもわかりやすく「RPA」を教えてください ! (同上)

■成果・チャレンジ

- ・サービス認知度向上に伴ってサポート団体数は増加し、新たなスタッフ採用・育成などによって約 50 団体の事務局運営効率化、安定化に貢献した。
- ・支援領域拡大検討のため、既存のご支援先に対して、会計診断(会計基準に則った日常会計の実施状況のチェック、改善のアドバイス)を行い、より適切な会計処理の実施に貢献した。
- ・休眠預金助成事業において、新たな資金分配団体が増加する中、資金分配団体と連携して助成先の団体への伴走支援や会計資料のチェック・フィードバックサポートなど、既存のノウハウを活かして新たな領域でのサポートを行った。

2.3 支援者管理データベース（セールスフォース）普及事業

NPOの活動を支える「会員」「寄付者」「イベント等の参加者」「事業管理」などの支援者管理機能を提供する支援者管理データベース(Salesforce)の普及事業に取り組んだ。支援者管理データベースが、NPOに普及することで、「データに基づいた戦略的な事業展開」、「支援者との柔軟なコミュニケーション」、「効率的な業務運営」の実現を目指した。

(1) Salesforce研修（非営利組織向け）の開催

定期的に研修を開催(5回)し、全国からのべ120名以上が受講した。新規導入団体のスタッフだけではなく、導入済み団体の新任スタッフなどの受講も得られた。

●1DAY 速習コース(初級編)

内容:会員・寄付管理、イベント参加者管理、カスタマイズ基礎

●1DAY 速習コース(中級編)

内容:レポート活用、管理者基礎、カスタムオブジェクト入門

(2) 個別導入・活用支援の実施

ハンズオン形式による、Salesforce 導入・改善のサポートサービスを提供した。

データベース導入、運用の定着化支援など、団体のニーズに応じて柔軟な個別支援を実施した。国際協力、環境、福祉、教育、文化芸術団体などのべ **35 団体**の支援をおこなった。(導入支援:11 団体、運用・改善支援:24 団体)

▼支援例

- ・国際協力団体の、「会員・寄付者管理」、「プログラム参加者管理」 など
- ・環境団体の、「会員・寄付者管理」、「資格管理」
- ・医療団体の、「面談履歴管理」、「個別支援実績管理」
- ・福祉団体の、「面談履歴管理」、「物資販売管理」、「ボランティア管理」
- ・文化芸術団体の、「公演管理」、「営業管理」、「出演者管理」

■成果・チャレンジ

- ・運用中の団体に対しての改善提案や環境調査の提供を新たに開始し、5 団体へのサポートを実現した。
- ・コロナ禍において、以下の2点のニーズに対して、柔軟に対応することができた
 - 1)オンラインによる支援者および受益者情報の管理ニーズへの対応
 - 2)既存事業が実行できない期間における、システム基盤整備ニーズへの対応

2.4 社会課題解決型シェアオフィスの運営

2017年6月より運営を開始した、社会課題に取り組む事業や、その事業を支援する組織のためのシェアオフィス「コラボオフィス mingle(ミングル)」の運営を実施した。

コロナ禍での利用形態は大きく変化した一方で、従来の事務所からシェアオフィスへの移転ニーズは増加し、入居団体数は増加した。

《主な入居団体》



3. NPO支援マーケットづくり

3.1 NPO支援マーケット創出事業（企業のNPO向け支援サービス普及事業）

法人向けのサービス(BtoB)を提供する企業が、サービスや製品の提供を通じてNPOなどの社会的な事業体を支援する仕組みの構築、およびNPO支援マーケットの創出を目的に、事業を行った。

2021年度は毎年開催してきたNPO支援サービス展示会を「BUSINESS to NPO World オンラインショーケース」としてリニューアル。年に1度のイベントから24時間、年中無休のオンラインセミナー形式で開催した。

（1）BUSINESS to NPO World オンラインショーケース

- ・開催期間：2021年10月～2022年8月
- ・会場：オンライン(オンデマンド配信)
- ・参加費：無料
- ・主催：NPOサポートセンター



2021年10月から、NPO支援サービスの新着動画を毎月配信した。視聴後は、各オンラインセミナーのNPO担当窓口にお問い合わせ、相談ができるフォームを設置。開催期間中「シーズン1：ファンドレイジング展」(2021年10月～12月)、「シーズン2：バックオフィス展」(2022年1月～3月)、「シーズン3：NPOの継続・持続可能な運営を支えるサービス展」(2022年4月～6月)など、幅広いNPO関係者の方々が、参加できるセミナーテーマで開催した。

■ シーズン1：ファンドレイジング展（セミナー公開日順）

- 株式会社エニシフルコンサルティング「支援者コミュニケーションが変わる！GOEN DRM大解剖」
- READYFOR株式会社「READYFOR式ファンドレイジング設計の強み」
- ファンドレイジングアドバイザー 宮本聡 × B-SAPO「バックオフィスをととのえて、計画的なファンドレイジングを実現！」
- 株式会社セールスフォース・ジャパン「セールスフォースが提供するファンドレイジング支援サービス」
- 一般財団法人非営利組織評価センター「グッドガバナンス認証：NPOが幅広い支援の継続的な獲得を手助けをする仕組み」
- 株式会社エニシフルコンサルティング「コロナ緊急支援・災害緊急支援の事例から『クラウドファンディングのポイントを学ぼう！』」
- コングラント株式会社「NPOのためのe-ファンドレイジング・ティップス」
- 株式会社ガハハ「郵便振込書付チラシ制作サービス『キッフ』」
- NPO法人Co.to.hana「志縁コミュニティを育むブランディングデザイン」
- NPO法人セイエン 代表理事 関口宏聡 × NPO支援サービス業界マップ制作者「NPO経営の課題を予測！『NPO支援サービス業界マップ』解説と2022年の論点」

■ シーズン2：バックオフィス展（セミナー公開日順）

- カコムス株式会社「ご存じでしたか？無料で利用できるNPO様向けMicrosoft365の始め方」
- 株式会社うるる「もう人手不足で悩まない！NPO法人の生産性を引き上げる電話対応DXの成功事例」
- BLP-Network「基盤強化のための弁護士活用法」
- りのは総合法律事務所「NPOの為のコンプライアンス基礎——ハラスメント、取引、情報の管理」
- TOMOWEL Payment Service 株式会社「BizプリカPLUSで現場の小口現金を削減！」
- UiPath DX Rocket プロジェクト × B-SAPO「事務局業務の自動化の第一歩！NPOにもわかりやすく『RPA』を教えてください！」
- NPO法人チャリティーサンタ ITチーム 青山恭隼 × NPOサポートセンター小堀悠「複雑な社会における『NPOのデータ活用と活動インパクトの最大化』」

（2）NPO支援サービス紹介サイト「Nコレ！ - NPO支援コレクション」運営

NPO支援サービスをまとめた紹介サイト「Nコレ！ - NPO支援コレクション」を運営。「事業戦略」、「広報」、「資金調達」、「組織・人材」、「財務・会計」、「トレーニング」などのテーマごとに、NPOを支援するサービスを集めた国内最大規模の紹介サイト。NPOの代表・リーダーから現場スタッフ、ボランティア、プロボノの方々に役立つサービスの紹介をおこなっている。現在100以上のサービスを掲載。

◆「N コレ！ -NPO 支援コレクション」サイト URL : <https://npo-sc.org/ncolle/>



■ PR 記事掲載 (4 記事)



【株式会社うるる】スタッフの時間と力は本来業務に集中。電話対応の質も向上！子どもの放課後支援 NPO の電話受付サービス「fondesk」活用例



【株式会社ガハハ】チラシを通じて、NPO のファンドレイジングにどこまでも寄り添う。郵便振込書付き寄付チラシ制作サービス「キッフ」



【シネックスジャパン株式会社】NPO 運営に必須の基本ツールをまとめて導入！場所にとらわれずスムーズで安全なデータ管理やコミュニケーションを。NPO 向け「Microsoft 365」構築支援サービスが登場

(3) 個別サービスの普及支援

i) クラウド名刺管理サービス Sansan 普及サポート

■ サービス概要

「名刺を企業の資産に変える」をコンセプトに、社内に眠る名刺をデジタル化し、人と人のつながりを情報として可視化・シェアできる世界初の法人向けクラウド名刺管理サービス。名刺をスキャナやスマホアプリで読み取るだけで、入力オペレーターにより名刺情報が正確にデータ化され、クラウド型アプリケーションを通して組織内で名刺情報を共有できる。



■ サポート内容

- ・NPOプラン適用の非営利組織「審査業務」運用サポート
- ・NPOプラン検討団体のメール問い合わせ対応
- ・NPO向けプランの内容、運用に関する助言、情報提供

ii) セルフ型リサーチサービス Questant(クエスタント)/ミルトーク普及サポート

■ サービス概要

株式会社マクロミルが提供する「Questant」「ミルトーク」は、ウェブ上で会員登録するだけで、調査会社を経由せず利用団体自身でリサーチが行えるサービス。利用団体の保有リスト先に直接アンケート調査が可能となるセルフアンケートツール「Questant」、およびマクロミルモニタに対してウェブ掲示板を作り、生活者の生の意見を集めることができる「ミルトーク」の2ツールをNPO向けに特別価格で提供。NPOはこれらのサービス活用により、団体が抱える課題の可視化や仮説検証をスピーディーに行うことができる。



株式会社マクロミルが提供する「Questant」「ミルトーク」は、ウェブ上で会員登録するだけで、調査会社を経由せず利用団体自身でリサーチが行えるサービス。利用団体の保有リスト先に直接アンケート調査が可能となるセルフアンケートツール「Questant」、およびマクロミルモニタに対してウェブ掲示板を作り、生活者の生の意見を集めることができる「ミルトーク」の2ツールをNPO向けに特別価格で提供。NPOはこれらのサービス活用により、団体が抱える課題の可視化や仮説検証をスピーディーに行うことができる。

■ サポート内容

- ・NPOサポート特設webサイトの制作、運用
- ・NPOプラン検討団体からのメール問い合わせ対応
- ・マクロミル社の社会貢献活動プログラム「Goodmill」運営事務局への助言、情報提供

■ 成果・チャレンジ

NPO 向けサービス提供企業・組織・専門家と連携をして、活動および事務局運営がリモートワーク環境に対応するための事業継続・発展のヒントとなる情報を提供した。

- オンラインセミナー形式としてリニューアルした「BUSINESS to NPO World オンラインショーケース」は、NPOと企業等のNPO向けサービスにとって継続的な出会いの場になることをめざした。各セミナー動画は、都度申込み不要で、参加者に新着動画情報が毎月届けた。次年度以降は、年に1度の対面オフラインイベントの熱量が高い出会いの場となる展示会と、継続的な出会いの場となるオンラインショー

ケースの並行開催の実現をめざし、情報の提供頻度の増加、年間を通じた最新情報の提供を、NPO に継続的に実施できる可能性が見えてきた。

- NPO のリモートワークに役立つサービスを網羅的に紹介し、かつそのサービスの選び方について IT に強い NPO 支援者による対談コンテンツを制作した。網羅的な紹介は例年作成している「NPO 支援サービス業界マップ」をリモートワーク特化版として作成。NPO および、小規模団体が持続的に活動できるよう、導入・活用のしやすい 300 サービスをマップに掲載。サービスの選び方をテーマにしたコンテンツは、NPO 支援サービス業界マップの解説、最新の IT ツールの導入事例の紹介、IT 活用が優れている NPO とのトークセッションを企画した。

3.2 助成財団との連携 (NPO コンサルタント・支援者との連携事業)

■概要

European Climate Foundation が実施する助成プログラム「Tara」と連携。気候変動に取り組むNPOの育成・発展を事業面、組織面から支援。NPOサポートセンターのネットワークを活かし、NPOの経営サポートを専門にする支援者のマッチングを実施。

■NPO と支援者のマッチング例

組織基盤強化支援

- 組織体制やバックオフィス関連などの、課題洗い出しと解決策提案を行い、支援者をマッチング。
- 例：環境問題の政策提言、調査などを手広く行う団体と「社労士」「ソーシャルビジネスに詳しい中小企業診断士」をマッチング。経費精算、クラウド電話などのITツール導入、勤務ルールの見直しと勤怠管理ツール導入など。

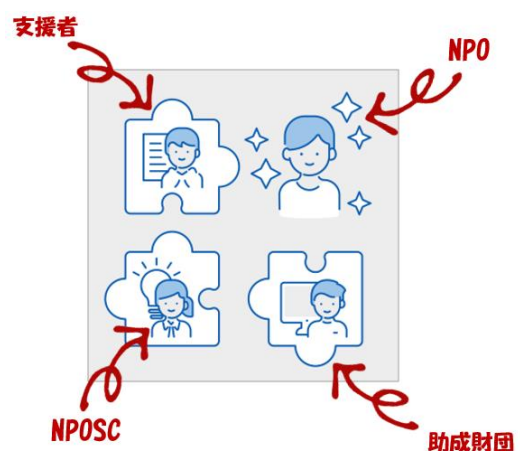
新規団体の立ち上げ支援

- 法人格選択の相談受付、設立手続の案内、事務局業務開始までのタスク整理、定款作成や登記などを取り扱う支援者をマッチング。
- 例：気候変動に関する調査活動、政策提言などを行う団体と、非営利法人のBPO会社をマッチング。一般社団法人(非営利徹底型)の設立支援。コラボオフィス mingle のバーチャル利用。

■成果・チャレンジ

NPO の経営/運営をサポートする専門家の支援費(業務委託費)とマッチング面で NPO のサポートを実施。

NPOコンサルタント等の専門家から支援を受けるための費用面を、助成財団と連携をしてサポートが実現した。費用面だけでなく、その専門家の紹介/マッチングまでを、NPOサポートセンターのネットワークを活かして実施した。本年度の成果をふまえて、翌年度も同様の仕組みで継続実施の予定。NPOが支援者利用を習慣化できる環境づくりを進めていき、支援者をはじめとする多様な人材とのコラボレーションで、NPOが外部環境の変化対応やイノベーションを促進できる仕組みづくりをめざしていく。



4. 協創のプラットフォームづくり支援

4.1 自治体サポート事業

東京都をはじめとする関東圏内の地方自治体とパートナーシップを組み、各自治体の市民活動支援や協働推進施策の運用・改善をサポートしながら、地域の NPO や中間支援拠点の社会課題解決力の向上に貢献することを目的としている。

2021 年度は 1 自治体(品川区)の案件に着手し、地域の NPO の組織・事業基盤強化のための伴走型相談や、区民協働、中間支援機能の設置、拡充に向けた施策改善、自治体職員の協働支援施策形成能力取得の研修企画等企画提案し、協創のプラットフォームづくり支援を行った。

(1) 品川区

自治体サポート事業のプロトタイプと位置づけ、昨年同様、区の助成制度運営に携わり、公益活動を目的として活動している団体(NPO 法人、ボランティア団体等、以下「団体」)の組織・事業基盤強化のための個別相談や研修、自治体と NPO の協働促進を見据えた自治体職員研修を行った。

①区民活動助成制度 助成セミナー・事前相談会実施委託

(ア)助成セミナーの開催

助成制度改善の一環として、団体対象に、NPO 等の資金特性や資金調達、助成金の意義や申請に関する知識習得をねらいとしたセミナーを実施し、申請相談への動線とした。

【日時】 2021 年 4 月 12 日(月)15:00～17:00

【参加】 5 人(5 団体)

(イ)事前相談会の実施

助成事業を足がかりに、団体が持続可能な運営を可能にし、長期的視点で申請事業づくりを伴走支援するため、相談会を企画、実施した。また、この機会を捉え団体の組織・事業運営課題の把握を行った。

	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度
期間	2020 年 4 月 16 日(木)～30 日(木)	2021 年 4 月 19 日(月)～30 日(金)
件数	延べ 17 件(11 団体) (対面及びオンライン)	延べ 19 件(13 団体) (対面及びオンライン)

※土日祝を除く

②区民活動助成制度報告会実施委託

助成事業の成果と課題を各採択団体の次事業に活かすため、区主催報告会の企画に助言をし、当日講評を行った。

【日時】2022 年 4 月 1 月 28 日(金)13:00～15:00

【発表団体】 採択団体 6 団体

③コラボレーションサポート(相談支援)実施委託

団体の持続可能な運営を可能にするため、組織や事業の基盤強化に関する団体への伴走型の相談支援を企画し実施した。

	2020(R2)年度	2021(R3)年度
期間	2020年4月～2021年3月まで (月1回、原則13:00～17:00)	2021年4月～2022年3月までのうち、 6、7、9、10、11、12、2、3月 (月1回、全8回、原則13:00～17:00)
対象	助成金採択団体、区民活動団体、社会貢献活動に取り組む企業、行政	
件数	19団体(延べ21件) (対面及びオンライン)	15団体(延べ18件) (対面及びオンライン)

④品川区職員研修実施委託

係長級職員に対し、協働の視点をもった施策形成能力の向上を図るため、協働に関する知識及び具体的な事例等を習得することをねらいとした研修を実施した。

	2020(R2)年度	2021(R3)年度
期間	2021年2月24日(水)10:00～12:00	2021年2月18日(金)14:00～16:00
対象	係長級職員15名	係長級職員15名
内容	協働に関する講義／事例トーク／ワークショップ・講評	協働に関する講義／事例トーク／ワークショップ・講評

⑤(新規)オンライン研修実施委託

助成金申請相談、コラボレーションサポートにおける事業相談から見てきた団体の組織や事業運営の課題を「組織運営」「資金調達」「広報」に定め、区民活動団体を対象にその、解決を狙いとした研修を実施した。

■組織運営

タイトル	地域課題解決のための事業戦略づくり
日時	2021年7月31日(土)13:30～16:15(リアルタイム配信) ※セミナー終了後から2週間は録画配信
講師	松本祐一(NPO法人NPOサポートセンター代表理事)
参加	33名(13団体)
内容	地域活動に必要なマーケティングの考え方と基礎的な事業戦略づくり

■資金調達

タイトル	活動を促進する資金調達の基本
日時	2021年11月8日(月)13:30～15:30(リアルタイム配信) ※セミナー終了後から2週間は録画配信
講師	徳永洋子氏(ファンドレイジングラボ代表)
参加	18名(13団体)
内容	ファンドレイジングの基本的考え方、寄付集め・会員拡大・助成金活用のポイント

■広報

タイトル	広報の基本と“伝わる”広報計画作り
日時	2022年2月15日(火)13:30～15:30(リアルタイム配信) ※セミナー終了後から2週間は録画配信
講師	谷 浩明(東京都杉並区広報専門監)
参加	30名(15団体)
内容	広報の役割、コミュニケーションの仕組みの理解、相手の行動を促す広報の要素を抑えた実践計画づくり

(2) 中央区

係長級職員に対し、協働の視点をもった施策形成能力の向上を図るため、協働に関する知識及び具体的な事例等の習得をねらいとした研修を実施した。

	2020(R2)年度	2021(R3)年度
日時	2020年8月27日(木)13:30～16:30	2021年6月29日(火)13:15～16:45
参加	係長級職員26名	係長級職員28名
内容	協働に関する講義／事例トーク／ワークショップ・講評	協働に関する講義／事例トーク／ワークショップ・講評

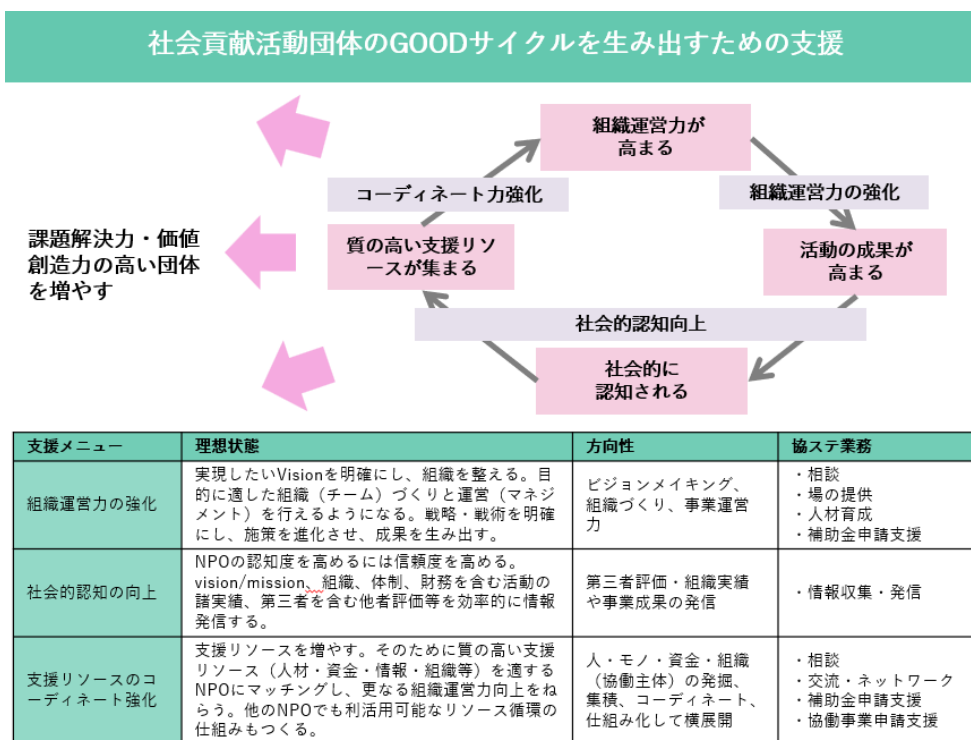
■成果・チャレンジ

- ・新規案件の獲得:前半は、職員の病欠など十分な営業ができなかったが、品川区においては、コラボレーションサポート相談支援の2022年度予算の増額を、練馬区においては2022年度から3年間行われる「地域おこしプロジェクト」の受託を実現した。
- ・組織運営力強化(品川区):区民活動団体の組織運営力強化に行政と協働して取り組んだ。助成申請相談を皮切りに組織運営課題を共有、月1回の事業相談(コラボレーションサポート相談)につなげ、助成金申請～採択～報告までを伴走支援する仕組みが定着しつつある。
- ・これらの相談利用が進んだことにより、組織運営力強化、認知向上に関する共通課題の解決に関する基礎知識は研修を通して修得してもらう仕組みが生まれた。2020年度は1枠だった研修枠を、2021年度には3枠に増やすことができた。組織運営力強化に関する講義や実践ワークで作成した戦略の骨格を、月1回の伴走型事業相談でさらにブラッシュアップ、成果が上がる事業/組織運営力強化に取り組む仕組みが生まれた。
- ・相談支援に3者が関わることにより、目標設定や課題が共有できるようになり、定期的かつ実質的なアドバイスが可能になった。また、結果として、行政、他団体、企業との連携・協働、活動資源のマッチング・コーディネート機会が増えた。助成金報告会においても事業成果の高まりがみられた。
- ・助成事業の成果が高まりは、区の協働事業の成果発信の強化につながっている。区の広報媒体「しながわすまいるネット」への掲載内容が成果発信へと変容した。また、すこしずつではあるが、行政職員の協働に対する理解の醸成にもつながっている。
- ・2021年度中、品川区では、自治体協働を視野に入れた事業支援を行う助成制度(トライ助成)の新設が行われた。これまでの実績を踏まえ、当団体として制度設計をサポートした。

4.2 中央区「協働ステーション中央」事業 委託

2010年度以降、中央区から委託を受け運営している。協働提案事業の実施に向けたコーディネートをはじめ、区内の社会貢献の推進、協働の普及促進を進める中間支援を実施。

2021年度は、4、5月にかけてプロボノ支援による戦略の抜本的見直しに取り組み、それをベースに組織体制や事業計画を見直した。



（１）相談事業

2021年度は、戦略に基づく組織運営・認知向上（広報）・支援リソースのコーディネート の3本を柱に相談を徹底した。講座・イベント開催時に相談周知や団体へのロビーワークを強化し、新規登録や相談利用を促した。新規登録団体においては利用登録・団体設立を契機に、ビジョン策定や戦略設計、計画策定相談を可能な限り常態化した。既存団体の事業の見直し等にも積極的に着手した。その結果、一団体にかかる相談件数が増加した。

		2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
合計		328件	206件	163件	230件
内訳	設立準備	35件	19件	14件	14件
	資金調達	4件	3件	8件	10件
	運営・事業展開	91件	83件	58件	109件
	協働事業	25件	16件	24件	23件
	その他	173件	85件	59件	74件

（２）人材の育成

2021年度は、組織運営力強化に必要な「ビジョンメイキング」「ステークホルダーコミュニケーション」「事業評価」資金調達の4テーマで講座を開催した。新型コロナウイルス感染拡大による閉館はオンライン開催に切り替えたことで参加者増につながった。

業務	講座別	2019(R1)年度			2020(R2)年度			2021(R3)年度		
		回数	参加団体	参加者数	回数	参加団体	参加者数	回数	参加団体	参加者数
人材育成	入門	1	21	30	1	17	21	1	11	16
	専門	4	92	109	5	28	35	6	106	141
	協働	3	51	74	3	16	21	3	16	17
	計	8	164	213	9	61	77	10	133	174
ネットワーク	サロン	0	0	0	0	0	0	1	17	31
	見本市	0	0	0	1	29	57	1	28	50
合計		12	164	213	10	90	134	12	178	255

■入門講座

(テーマ:ステークホルダーコミュニケーション)

タイトル	聞き手の共感を呼ぶ ストーリーの語り方 ～自団体のビジョンを伝える～
日時	2021年8月19日(木) 18:00～20:00(zoomによるオンライン開催)
講師	松澤 桂子氏(特定非営利活動法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン理事)
参加	16名(11団体)
内容	コミュニティ・オーガナイズングの概念講義、聞き手の共感を呼ぶストーリー作りワークショップ

■専門講座

(テーマ:資金調達)

タイトル	資金調達力アップで団体のミッション達成に導く 事業継続のためのファンドレイジング
日時	第1回:2021年12月7日(火)17:30～19:30(zoomによるオンライン開催) 第2回:2021年12月14日(火)17:30～20:00(zoomによるオンライン開催) 第3回:2021年12月18日(土)13:00～15:30(zoomによるオンライン開催)
講師	徳永 洋子氏(ファンドレイジング・ラボ代表/日本ファンドレイジグ協会理事)
参加	第1回:28名(23団体)、第2回:22名(16団体)、第3回:14名(11団体)
内容	第1回:非営利組織の資金特性・ファンドレイジングの概念 第2回:自団体に適した支援者の見極め方や支援継続のプロセス 第3回:実践のポイントやコロナ禍でできる調達方法

(テーマ:事業評価)

タイトル	ふりかえりと計画づくりを通して学ぶ 成果を生み出す事業評価の考え方
日時	第1回:2022年1月27日(木)18:30～20:30(zoomによるオンライン開催) 第2回:2022年2月3日(木)18:30～20:30(zoomによるオンライン開催) 第3回:2022年2月12日(土)13:00～16:00(zoomによるオンライン開催)
講師	小笠原祐司氏(NPO法人bond place代表理事/日本評価学会認定評価士)
参加	第1回:18名(13団体)、第2回:15名(13団体)、第3回:13名(13団体)

内 容	第1回:評価の有効性と活用法の習得、第2回:2021年度の振り返り、第3回2022年度事業計画づくり
-----	--

■協働講座

(テーマ:ビジョンメイキング)

タイトル	協働でビジョンを実現するための事業戦略づくり
日 時	第1回:2021年10月19日(火)17:00~20:00(zoomによるオンライン開催) 第2回:2021年10月30日(土)13:00~17:00(現地開催) 第3回:2021年11月4日(木)17:00~20:00(zoomによるオンライン開催)
講 師	松本祐一(NPO法人NPOサポートセンター代表理事/多摩大学経営情報学部教授)
参 加	第1回:10名(9団体)、第2回:7名(7団体)、第3回:6名(6団体)
内 容	第1回:事業戦略の考え方の講義、戦略づくりI(自団体の社会的価値の整理) 第2回:戦略づくりII:顧客に提供できる価値、団体独自の活動を整理する 第3回:協働事業を見据え、事業戦略の精度を高めるワーク

(3) ネットワークの構築

支援リソースの発掘、マッチング・コーディネート強化支援として、中央区の課題解決に向け異なる組織間の連携・協働を促す「交流サロン」、登録団体の認知度向上及び支援リソースのマッチングを促す「見本市」を行った。また、人材育成講座の4テーマ(ビジョンメイキング/ステークホルダーコミュニケーション/事業評価/資金調達)に連動させる形で十思カフェを開催した。

■市民活動交流サロン

タイトル	中央区の現在を語る交流会-よりよい地域づくりのためにそれぞれができることを考える-
日 時	2021年11月13日(土)13:00~16:00(現地開催)
講 師	事例提供:高木亮(みんなの日本橋プロジェクト代表) 白井くみ代(NPO法人センター・オブ・ジ・アーツ理事長)
参 加	31名(17団体)
内 容	区の課題を捉えるゲストトーク(話題提供)、区の課題と解決の糸口を考えるワールドカフェ

■見本市

タイトル	つながりマルシェ vol.6~参加で広がる市民の輪~
日 時	1. ベイネット地デジ11チャンネルによるケーブルテレビ配信 2022年3月9日(水)、10日(木)、11日(金)、12日(土)、全4日間、19:00~20:00 2. YouTube配信(中央区チャンネル、協働ステーション中央チャンネル) 2022年3月14日(月)~
出 演	50名(28団体)
内 容	1.【活動紹介】視聴者の参加・応援をマッチング!社会貢献活動紹介 2.【中央区協働事業提案制度採択団体インタビュー】地域課題を行政と解決!NPO×中央区の取り組み紹介

	<p>3.【中央区社会貢献活動事業補助金認定団体インタビュー】補助金を活用して事業を発展！ NPO×補助金の取り組み紹介</p> <p>4.【講演】地域コミュニティの未来を考える～子どもにとってのよりよいふるさとをめざし中央区の未来の価値をつくる～</p> <p>5.【施設紹介】協働ステーション中央の紹介</p>
--	---

■十思カフェ

	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
開催数	12	4	10
参加団体数	192	31	94
参加者数	309	58	126

日時		タイトル	参加団体	参加者数
2021年4月27日(火)	19:00～21:00	困窮した女性に必要な支援につなげる協働の取り組み～協働の意義と実現のための行動力を探る～	開催中止	
2021年5月20日(木)	18:30～20:00	福祉施設と企業の協働の取り組み～企業と協働し、障がい者の個性と能力を活かす仕事を増やす～	開催中止	
2021年6月24日(木)	18:30～20:00	アートを通じた場づくりで、シビックプライドを醸成する協働の取組み	11	16
2021年7月27日(火)	18:30～20:00	公園の管理・運営に住民や団体が関わり地域の価値を高める協働の取組み	11	15
2021年8月26日(木)	18:30～20:00	企業人材とNPOの協働プロジェクトに学ぶ人材・ノウハウを相互活用する意義	11	14
2021年9月30日(木)	18:30～20:00	NPOと協働で地域文化を創り出す～人材育成と組織基盤の整備が協働にもたらす効果を探る～	5	8
2021年10月21日(木)	18:30～20:00	自治体・企業と協働して食品ロス削減の循環をつくる～防災備蓄食品の寄贈と再生利用をコーディネートする取組み	6	8
2021年11月27日(土)	10:30～12:30	当事者ニーズに応じて事業を継続する秘訣～障がい児の居場所づくりと進路保障を支える40年の活動から探る～	11	12
2021年12月16日(木)	18:30～20:30	ネットワークの力で「社会的養護」を巣立つ若者の支援を集める	11	13
2022年1月20日(木)	19:00～20:30	“孤育て予防”のマタニティメールを全国に自治体協働実現のための制度活用のコツ～	7	9
2022年2月17日(木)	18:30～20:00	事業の効果を測り信頼に繋げる仕組みづくり～団体に聞く事業の価値の知り方・伝え方	10	15
2022年3月15日(火)	18:30～20:00	現状から実現したい未来像を描く～事業の効果を高める振り返り方～	11	16

(4) 協働事業提案又は協働事業への支援

中央区協働事業提案に関する申請は担当部局と提案団体ともに調整が付き、採択予定であったが、急場で警察署所管の制度利用が困難となり、採択に至らなかった。その他の協働支援については、相談を通じて組織や事業運営課題を把握し、その解決に必要な人材、情報、組織等の支援リソースを積極的に発掘、コーディネートした結果、件数が増加した。

■中央区協働事業提案制度の申請支援

		2020(R2)年度	2021(R3)年度
相談		8 事業	5 事業
事業構築		8 事業	2 事業
提案		2 事業	1 事業
採択件数	新規	1 事業(※1)	0 事業

(※1)一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島「障害者・障害児向けスポーツ・文化・レクリエーション教室」事業

■協働事業の支援（協働コーディネート件数）

協働種別	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
団体-企業	20 件	9 件	12 件
企業-企業	0 件	0 件	1 件
団体-団体	18 件	10 件	21 件
合計	38 件	19 件	34 件

(5) 社会貢献事業補助金の申請支援

中央区に新設された制度の2年目は、相談は一定件数あったが、事業収入の獲得、助成制度の利用しやすさ、対象事業との不適合などにより、結果2件にとどまった。

		2020(R2)年度	2021(R3)年度
相談		5 事業	6 事業
申請支援		4 事業	2 事業
認定	新規	4 事業(※1)	2 事業(※2)

(※1)

- (1)NGO 外反母趾研究会「子どもの足の健全な育成」
- (2)一般社団法人中央区地域スポーツクラブ大江戸月島「高齢者歩行運動促進事業」
- (3)NPO 法人伝統工芸つくも神「和紙を未来へつなげる伝統工芸アンバサダー事業」
- (4)NPO 法人キープ・ママ・スマイリング「『宅配お弁当 de スマイリング』事業」

(※2)

- (1)gente 編集部「区内の障害者雇用・就労を身近に識る広報誌制作【地域版「gente」】事業」
- (2)認定 NPO 法人日本がん登録全国協議会「区民への『正しいがん情報』を発信するための「がん情報サイト」制作事業」

■成果・チャレンジ

・経営戦略の見直し:年度初めに活動の GOODCYCLE 及びロジックツリーの作成支援を受けたことで、組織戦略が明確化、それに基づく各業務戦略の見直しが実現できた。業務間連携が強化され、全業務を戦略に基

づく4テーマ(ビジョンメイキング、ステークホルダーコミュニケーション、資金調達、事業評価)で一貫した企画運営、広報に取り組んだ。講座イベントから相談・登録への誘導を徹底した。オンラインでの事業実施に積極的に取り組み、事業モデルを確立した。

- ・組織運営力の強化:戦略に基づく4テーマでの企画運営を徹底した。その結果、相談件数増加・質が高まった(前年度比+20件以上、過去最多)。登録団体数も、前年度比15団体以上を実現した。NPOサポートセンターのビジネスモデルチェンジ支援へとつながる団体も出てきた。

- ・支援リソースの強化:ビジョンメイキング・資金調達・次年度振り返りや計画策定支援にフォーカスし、相談した結果、マッチング・コーディネイト件数が増加した。また、情報提供だけでなく積極的に団体と引き合わせるなどマッチング機会が増え、支援リソースのコーディネイトの質も高まった。さらに、スタッフの相談スキルの向上にもつながった。

- ・認知向上:団体の広報支援戦略の抜本の見直しに取り組んだ。イベント情報の提供が主だったが、成果発信に着眼した広報、それに絡めて支援リソース情報の発信を意識して取り組んだ。

5. 情報発信・啓発・ネットワーク

5.1 モデルチェンジ・チャレンジ 100 プロジェクト

Vision2020 発表記念の新企画。代表理事の松本祐一が、活動戦略に悩むNPOの相談を無料で120分お受けするプロジェクト。個別相談の様子は、動画配信の形式で公開。2021年度は、NPOサポートセンター主催研修のほか、外部組織主催のイベントにて積極的に提案、実施。16団体のNPO法人の代表/経営層をゲストに迎えた。事業戦略づくりの基礎となるフレームワーク「戦略の骨格」を用いて、これからの時代の変化を見据えたNPOの「事業のモデルチェンジ」を一緒に考えた。

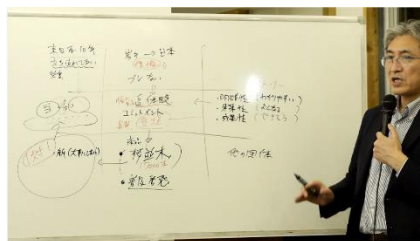


#	開催日(配信日時)	登壇団体名	主催
1	2021年7月31日	NPO 法人そとぼーよ	品川区
2	2021年9月9日	NPO 法人森ノオト	NPO サポートセンター
3	2021年10月9日	認定 NPO 法人育て上げネット	NPO サポートセンター
4	2021年11月4日	日本再起業支援協会	協働ステーション中央
5	2021年11月4日	ウェルネス&ホリスティック APIECE	協働ステーション中央
6	2021年11月4日	育てる芝生〜イクシバ!プロジェクト	協働ステーション中央
7	2021年11月4日	Team en/袖縁	協働ステーション中央
8	2021年11月4日	NPO 法人このはな児童学研究所	協働ステーション中央
9	2021年11月4日	Q スモプロジェクト	協働ステーション中央
10	2021年11月13日	認定 NPO 法人桜ライン 311	NPO サポートセンター
11	2021年11月14日	NPO 法人障がい者自立センター「ホット大仙」	秋田県南 NPO センター

12	2021年11月14日	ほろっとキッズ	秋田県南 NPO センター
13	2022年1月11日	認定 NPO 法人ファミリーハウス	NPO サポートセンター
14	2022年1月26日	NPO 法人ひらつかエネルギーカフェ	ひらつか市民活動センター
15	2022年2月12日	NPO 法人エイズ孤児支援 NGO・PLAS	NPO サポートセンター
16	2022年3月12日	NPO 法人つくばアグリチャレンジ	NPO サポートセンター

5.2 10代と20代のための NPO キャンパス

「10代と20代のための NPO キャンパス」は、NPO、NPO 支援の仕事にかかわりたい、若い世代の方々を対象としたプログラム。各授業にゲスト講師をお招きし、2021年9月から1年間、毎月第二土曜日 昼の2時から開講。本プログラムは、5年後、10年後をみすえた、社会貢献・社会課題分野の担い手育成、および NPO 分野と連携する企業・自治体等で活躍する若者の輩出を目的に実施。NPO、社会問題に関心のある個人の量と質を増やすコミュニティづくり、NPO 業界の事業承継をみすえ、長期的な取り組みをめざす。



■実施概要

- ・開講期間：2021年9月11日(土)～2022年8月13日(土)
- ・受講者数：教室受講生6名、全国から参加するオンライン受講生150名
- ・受講者属性：大学生70%、高校生20%、24歳以下の社会人10%
- ・web サイト：<https://n-campus.npo-sc.org/>
- ・カリキュラム概要：

- (1) ゲスト講師によるトークセッション「NPO 支援、社会貢献の仕組みづくりを知る」
- (2) NPO 経営者の考えていることを知る「NPO の運営と戦略づくり」
- (3) 自分の将来を描く「キャリア面談」

■ゲスト講師(50音順)

- ・石原 達也(NPO 法人岡山 NPO センター 代表理事)
- ・伊藤 次郎(NPO 法人 OVA 代表理事)
- ・伊藤 文弥(NPO 法人つくばアグリチャレンジ 代表理事)
- ・鵜尾 雅隆(認定 NPO 法人日本ファンドレイジング協会 代表理事)
- ・遠藤 理恵(株式会社セールスフォース・ジャパン 執行役員 サステナビリティ&コーポレートリレーション)

- ・岡本 翔馬(認定 NPO 法人桜ライン 311 代表理事)
- ・加藤 遼 (IDEAS FOR GOOD Business Design Lab. 所長)
- ・工藤 啓(認定 NPO 法人育て上げネット 理事長)
- ・呉 哲煥(NPO 法人 CR ファクトリー 代表理事)
- ・小林 智穂子(認定 NPO 法人サービスグラント 事務局長)
- ・小山 健太(認定 NPO 法人ファミリーハウス 理事)
- ・関口 宏聡(認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事)
- ・武貞 真未(一般社団法人コード・フォー・ジャパン コミュニティリード)
- ・堀 大介(ファンドレイジング・コンサルタント)
- ・徳永 健人(READYFOR 株式会社 キュレーター事業部 ソーシャル部門 リードキュレーター)
- ・宮垣 元(慶應義塾大学 総合政策学部 教授)
- ・森山 誉恵(認定 NPO 法人 3keys 代表理事)
- ・門田 瑠衣子(NPO 法人エイズ孤児支援 NGO・PLAS 代表理事)
- ・吉山 昌(認定 NPO 法人 難民支援協会 事務局長・広報部マネージャー)

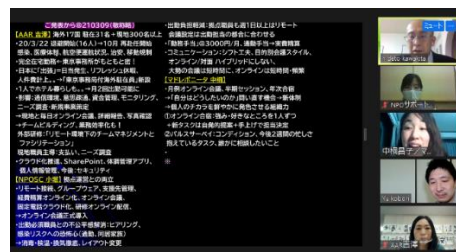
5.3 NNネット(「社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク」)

NPO/NGO の社会的責任(SR)向上を目的に、幹事団体として活動に参画した。2020 年度は前年度に引き継ぎ会計を担当し、ネットワーク全体の会計・決算業務を行った。また NPO の社会的責任(NSR)推進に関するセミナーの企画・実施も担当し、強化の要点や国内外の動向に関する報告、取り組みに向けた意見交換を行った。本年度は殆どの幹事会運営、イベント実施をオンラインで行った。

■SRセミナー2021

NNネット主催で合計4回のセミナーを開催。うち、第4回についてはセミナー企画を担当した。

- ・第1回 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がNPO/NGOに与えた影響 (2021年7月13日)
- ・第2回 「スポットライトレポート」や「ボトムアップ・アクションプラン」(BAP)からSDGs達成に向けたNPO/NGOの役割を確認する (2021年10月6日)
- ・第3回 発行から11年を経たISO26000の視点から「ビジネスと人権」を考える(2021年11月9日)
- ・第4回 NPO/NGOにおけるハラスメントへの対応をどう進めるか？(2022年1月11日)
- ・第5回 東京2020オリンピック・パラリンピック 『持続可能性』への取り組みの成果と課題 (2022年3月8日)



5.4 NSR(NPO への社会的責任)取り組み推進プロジェクト(NSR研究会)

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]が主催する、同研究会に職員が参画。隔月の勉強会および参加団体の取り組みに対するピアレビューを実施した。

当センターの取り組み報告では、ガバナンス・人権・労働慣行・環境配慮などの観点から承認システムの電子化、ハラスメント対応体制の整備、リモートワークによる資源削減効果などを共有した。

5.5 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ(SIMI)

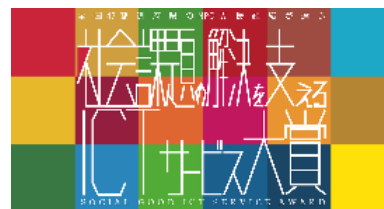
日本における社会的インパクト評価の普及啓発を目的とした、ネットワーク組織「社会的インパクト評価イニシアチブ」に、運営団体として参画。全体会合等に参加し、ロードマップの実行等に関わった。

5.6 寄付月間 2021 –Giving December–

寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、NPO、大学、企業、行政などで寄付に係る主な関係者が幅広く集い、12月1日から31日の間に行う全国的なキャンペーン。NPO サポートセンターは、賛同パートナーとして参画した。

5.7 第4回「社会課題の解決を支える ICT サービス大賞」

NPO 等が取り組む社会課題解決のための事業や活動を支える ICT サービスの表彰を行うことにより、社会課題の解決を支える ICT サービスの健全な発展と成長を目指し、第4回「社会課題の解決を支える ICT サービス大賞」を実行委員会と共催にて開催した。



▼受賞結果

《大賞》

新型コロナウイルス感染症対策サイトのデータ公開支援(一般社団法人コード・フォー・ジャパン)

《NPO 運営部門》

・部門賞

該当なし

・特別賞

電子印鑑 GMO サイン(GMO グローバルサインホールディングス株式会社)

SVF Cloud for Salesforce(ウイングアーク1st株式会社)

fondesk(株式会社うるる)

《社会課題解決部門》

・部門賞

Judgit! (一般社団法人構想日本)

《災害支援・緊急救援部門》

・部門賞

新型コロナウイルス感染症対策サイトのデータ公開支援(一般社団法人コード・フォー・ジャパン)

5.8 全国 NPO 事務支援カンファレンス

社会課題解決に取り組む NPO 等が、多様なステークホルダーと連携し成果を生み出す上で、組織基盤を形成する事務能力の重要性が一層高まっていることに注目し、全国の支援組織と連携した事務支援のネットワーク(事務局:岡山 NPO センター)の構築・運営に、世話人として参画した。

「NPO 法人事務力検定」、「事務力セミナー」について開催協力を実施した。

5.9 WEB サイト、SNS の運用

Webサイト、facebook、Twitter 等を運用し、組織および事業内容、セミナーやイベントなどの活動情報を配信した。SNS のリーチ数および Web サイト閲覧数は、前年度と比較して大きな変化はない。



(1) Web サイト

・UU(ユニークユーザ)数 : 21,306

・PV(ページビュー)数 : 54,377

(2) Facebook ページ

・リーチ数 : 2,000-5,000 / 月間

(3) Twitter アカウント

・ツイートインプレッション(表示回数) : 2,000-5,000 / 月間

6. その他

6.1 講師派遣・委員等

【講師・登壇者派遣】

■2021年5月26日

タイトル:「企業とNPOの連携が近い未来には必須!?(SDGsチャンネル)」

主催:JapanStockChannel

■2021年8月12日

タイトル:きずなメール・プロジェクト団体内勉強会

主催:NPO法人きずなメール・プロジェクト

■2021年9月22日

タイトル:NPO法人勉強会～活動のモデルチェンジを目指して～

主催:CRCN(Cardiac Rehabilitation Continuous Networ)

■2021年10月21日

タイトル:第3回地域スポーツクラブマネジメントセミナー

主催:公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

■2021年11月21日

タイトル:「いきいきフェスティバル」基調講演

主催:公益財団法人いきいき埼玉

■2022年1月24日

タイトル:令和3年度 青年リーダー研修会

主催:内閣府

■2022年1月25日

タイトル:日本ジオパークネット第3回オンライン研修会

主催:NPO法人日本ジオパークネットワーク

■2022年2月14日

タイトル:公共施設と進める協働プロジェクトをつくる際の考え方

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団(アーツカウンシル東京)

■2022年2月18日

タイトル：八王子NPOパワーアップ講座2021

主催：八王子市 市民活動支援センター

■2022年2月27日

タイトル：チャレンジ・プログラム2022（第5回）

主催：特定非営利活動法人ETIC.

■大田区NPO活動団体交流会 冊子執筆

「NPOのこれまでとこれから～モデルチェンジを目指して～」

【その他 委員等】

■2021年7月28日

「2021年度真如苑環境保全・生物保護市民活動助成」審査委員

主催：一般社団法人 環境パートナーシップ会議

■2021年9月-2022年3月

「内閣府 NPO 法人 Web 報告システム仕様検討会」委員(全7回)

主催：株式会社ライテック

■2021年9月-2022年3月

「かささき市民しきん審査会」委員(全7回)

主催：公益財団法人かわさき市民しきん

■2021年11月11日

「令和3年度中央区社会貢献活動事業補助金」審査委員

主催：東京都中央区区民部

■2022年3月13日

令和4年度 府中市市民提案型市民活動支援事業助成金「公開プレゼンテーション審査員」

主催：府中市市民活動センター運営グループ

以上